



平成 24 年 12 月 13 日

各位

会社名 コマニー株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 幹雄
(コード番号 7945 名証第二部)
問合せ先 取締役管理統括本部長 塚本 健太
(TEL. 0761-21-1144)

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、海外における事業及びそれに関わる取引に関して、不適切な処理が行われたとの疑義が生じたため、平成 24 年 10 月 3 日に当社と利害関係の無い外部有識者のみによる第三者委員会を設置し調査を行い、平成 24 年 10 月 30 日に同委員会より調査報告書を受領しました。

この調査結果を受けて、当社は連結範囲の変更の要否、関連当事者との取引に係る記載の訂正の要否等を検討いたしました。また、これを契機に、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理及び当社の過去の決算における繰延税金資産の回収可能性等の会計処理について再度検討を行い、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 20 年 7 月 30 日付「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上



【訂正後】

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 **コマニー株式会社**

上場取引所 名証二部

コード番号 7945

URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 川口 幸一 TEL (0761) 21-1144

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第1四半期	6,295 —	△367 —	△341 —	△266 —
20年3月期第1四半期	7,205 1.0	224 △18.4	238 △19.4	150 0.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△24.71	—
20年3月期第1四半期	13.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	30,894	22,629	73.2	2,172.31
20年3月期	31,776	23,656	74.4	2,164.66

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 22,608百万円 20年3月期 23,633百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	14,600 —	200 —	200 —	100 —	9.61
通 期	31,300 △3.6	1,260 △25.3	1,260 △27.6	700 △31.9	64.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	10,924,075株	20年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	516,555株	20年3月期	6,225株
③ 期中平均株式数 (四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	10,788,967株	20年3月期第1四半期	10,918,344株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した円高や株式市場の相場下落、原油価格の高騰等、景気の減速感が急激に強まっており、先行きは不透明な状況となっております。

間仕切業界につきましては、鋼材やアルミ地金の価格上昇、販売価格の競争激化等、引き続き厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が減少し、地方においては地域間の需要格差が一層広がりをみせました。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。

品目別売上高につきましては、クリーンルームパーティションは工場の設備投資の減少に伴い前年同期と比べ半減の4億61百万円(前年同期比48.1%減)となりました。それ以外の品目は、市場の減速により伸び悩みました。

これらのことから、当第1四半期連結会計期間の売上高は62億95百万円(前年同期比12.6%減)となりました。損益面では、前述の主要原材料の価格上昇等に対して、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上総利益率は前年同期と比べ3.5ポイント低下しました。営業損失は3億67百万円(前年同期は営業利益2億24百万円)、経常損失は3億41百万円(前年同期は経常利益2億38百万円)、四半期純損失は2億66百万円(前年同期は四半期純利益1億50百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8億82百万円減少しました。純資産は10億26百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低下の73.2%となりました。

総資産の増減の主なものは、現金及び預金が5億73百万円、製品が1億13百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億32百万円減少しました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は59億61百万円で、前連結会計年度末に比べて5億73百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは8億8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は10億58百万円となりました。これは主に、減価償却費2億31百万円、売上債権の減少額16億87百万円等の増加と、税金等調整前四半期純損失3億57百万円、賞与引当金の減少額3億20百万円、たな卸資産の増加額2億26百万円、仕入債務の減少額5億11百万円等の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は2億50百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出57百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は2億10百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億42百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間の連結業績が前年同期と比較して売上高、利益ともに減少しておりますが、受注残高が前年同期を上回っているため、平成20年4月25日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益が22,744千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ同額増加しております。

③ 当社については、役員退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上していましたが、平成20年4月25日開催の取締役会において、平成20年6月25日開催の第48回定時株主総会終結時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。

この廃止に伴い、本総会の終結時に在任する取締役及び監査役に対し、内規に基づき、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、具体的な金額、贈呈の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役会の協議に一任することが本総会で承認されました。

これに伴い、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金相当額216,200千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,061,545	6,487,766
受取手形及び売掛金	8,261,952	9,994,027
製品	888,370	774,510
原材料	461,305	375,441
仕掛品	207,308	196,249
繰延税金資産	513,735	400,674
その他	294,606	243,202
貸倒引当金	△30,933	△34,805
流動資産合計	17,657,889	18,437,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,175,934	3,242,669
機械装置及び運搬具	1,812,315	1,926,571
土地	3,390,973	3,390,973
その他	342,390	348,296
有形固定資産合計	8,721,613	8,908,510
無形固定資産		
その他	1,093,533	1,028,037
無形固定資産合計	1,093,533	1,028,037
投資その他の資産	3,421,293	3,403,083
固定資産合計	13,236,440	13,339,631
資産合計	30,894,329	31,776,696

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,526,615	2,053,537
短期借入金	351,200	435,000
未払法人税等	53,961	121,321
賞与引当金	390,880	711,208
役員賞与引当金	8,122	24,660
その他	<u>2,798,757</u>	<u>1,589,512</u>
流動負債合計	<u>5,129,536</u>	<u>4,935,239</u>
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	434,956	434,956
退職給付引当金	2,385,959	2,392,089
役員退職慰労引当金	—	262,800
その他	314,650	95,450
固定負債合計	<u>3,135,566</u>	<u>3,185,295</u>
負債合計	<u>8,265,103</u>	<u>8,120,535</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	<u>8,481,755</u>	<u>8,901,154</u>
自己株式	△548,079	△4,205
株主資本合計	<u>22,467,857</u>	<u>23,431,130</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,357	94,515
土地再評価差額金	227,102	227,102
為替換算調整勘定	△208,931	△119,287
評価・換算差額等合計	<u>140,527</u>	<u>202,329</u>
少数株主持分	<u>20,841</u>	<u>22,701</u>
純資産合計	<u>22,629,226</u>	<u>23,656,161</u>
負債純資産合計	<u>30,894,329</u>	<u>31,776,696</u>

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	6,295,370
売上原価	4,087,672
売上総利益	2,207,698
販売費及び一般管理費	2,574,835
営業損失(△)	△367,137
営業外収益	
受取利息	6,542
受取配当金	10,807
受取賃貸料	1,396
その他	40,120
営業外収益合計	58,866
営業外費用	
支払利息	5,720
為替差損	9,969
売上割引	7,473
その他	9,958
営業外費用合計	33,122
経常損失(△)	△341,392
特別利益	—
特別損失	
固定資産除却損	206
投資有価証券評価損	16,225
特別損失合計	16,431
税金等調整前四半期純損失(△)	△357,823
法人税等	△91,213
少数株主損失(△)	△61
四半期純損失(△)	△266,549

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△357,823
減価償却費	231,731
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,129
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△46,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△320,327
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,979
受取利息及び受取配当金	△17,350
支払利息	5,720
有形固定資産除売却損益 (△は益)	206
売上債権の増減額 (△は増加)	1,687,287
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△226,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	△511,670
その他	705,141
小計	1,121,045
利息及び配当金の受取額	16,231
利息の支払額	△5,738
法人税等の支払額	△73,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,058,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△57,617
その他	△192,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△59,400
自己株式の取得による支出	△8,924
配当金の支払額	△142,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,005
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	573,779
現金及び現金同等物の期首残高	5,387,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,961,545

(追加情報)

(格満林(南京)実業有限公司の売上高計上等)

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社は、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理について再度、検討を行いました。この結果、格満林(南京)実業有限公司の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金の計上に関する証憑の一部が保管されていないことなどが判明しました。このため、同社に保管されていた試算表その他の帳簿等をもとに訂正報告書の四半期連結財務諸表を作成しております。なお、同社の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金は、四半期連結損益計算書及び四半期連結貸借対照表の中に以下のとおり含まれております。

売上高	122,418千円
売上原価	169,774千円
売掛金	462,871千円
棚卸資産	181,295千円
貸倒引当金	△10,418千円
買掛金	82,361千円

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は単一であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,129,476	75,685	7,205,162	—	7,205,162
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,175	133,535	148,711	(148,711)	—
計	7,144,652	209,221	7,353,873	(148,711)	7,205,162
営業費用	6,907,370	226,184	7,133,555	(153,003)	6,980,551
営業利益又は営業損失(△)	237,281	△16,963	220,318	4,292	224,610

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,163,360	<u>132,010</u>	<u>6,295,370</u>	—	<u>6,295,370</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,152	82,868	95,020	(95,020)	—
計	6,175,512	<u>214,878</u>	<u>6,390,391</u>	(95,020)	<u>6,295,370</u>
営業費用	6,504,906	<u>253,501</u>	<u>6,758,408</u>	(95,900)	<u>6,662,507</u>
営業利益又は営業損失(△)	△329,394	<u>△38,622</u>	<u>△368,016</u>	879	<u>△367,137</u>

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高(千円)	7,121,391	7,412,790	<u>8,901,154</u>	△4,205	<u>23,431,130</u>
当第1四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△152,849		△152,849
四半期純損失			<u>△266,549</u>		<u>△266,549</u>
自己株式の取得 ※				△543,873	△543,873
当第1四半期末までの変動額合計	—	—	<u>△419,399</u>	△543,873	<u>△963,272</u>
当第1四半期末残高	7,121,391	7,412,790	<u>8,481,755</u>	△548,079	<u>22,467,857</u>

※ 平成20年6月に市場から534,949千円を取得しました。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金 額	百分比
I 売上高	7,205,162	100.0
II 売上原価	4,420,987	61.4
売上総利益	2,784,175	38.6
III 販売費及び一般管理費	2,559,564	35.5
1 運送倉庫料	300,516	
2 報酬、給与、賞与 及び手当	912,407	
3 賞与引当金繰入額	272,641	
4 役員賞与引当金繰入額	8,426	
5 役員退職慰労金引当金 繰入額	12,300	
6 賃借料	115,442	
7 その他	937,830	
営業利益	224,610	3.1
IV 営業外収益	29,311	0.4
1 受取利息	3,192	
2 受取配当金	10,120	
3 賃貸料	2,210	
4 その他	13,787	
V 営業外費用	15,770	0.2
1 支払利息	3,378	
2 売上割引	7,473	
3 その他	4,917	
經常利益	238,151	3.3
VI 特別利益	146,978	2.1
1 投資有価証券売却益	123,934	
2 違約金収入	23,043	
VII 特別損失	107,557	1.5
1 土地売却損	5,719	
2 固定資産除却損	101,838	
税金等調整前四半期 純利益	277,572	3.9
税金費用	127,472	1.8
四半期純利益	150,099	2.1

「参考資料」

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) 金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	277,572
2 減価償却費	216,218
3 退職給付引当金の増加額	5,487
4 役員退職慰労金引当金の減少額	△5,200
5 賞与引当金の減少額	△321,261
6 役員賞与引当金の減少額	△22,244
7 貸倒引当金の減少額	△1,009
8 受取利息及び受取配当金	△13,313
9 支払利息	3,378
10 投資有価証券売却益	△123,934
11 有形固定資産除売却損	9,960
12 無形固定資産除売却損	97,597
13 売上債権の減少額	1,764,595
14 たな卸資産の増加額	△565,211
15 仕入債務の減少額	△661,253
16 その他	1,001,951
小計	1,663,332
17 利息及び配当金の受取額	11,733
18 利息の支払額	△2,610
19 法人税等の支払額	△994,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	677,468
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△92,067
2 有形固定資産の売却による収入	8,000
3 投資有価証券の取得による支出	△108,000
4 投資有価証券の売却による収入	147,097
5 その他	△79,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,054
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増加額	76,350
2 長期借入金の返済による支出	△106,934
3 配当金の支払額	△121,500
4 その他	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,140
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△193
V 現金及び現金同等物の増加額	401,079
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,674,336
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,075,415

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結会計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	当第1四半期連結会計期間			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
ハイパーティション	4,650,570	96.4	3,298,819	94.3
ローパーティション	386,792	84.9	88,756	91.3
移動パーティション	364,205	119.3	422,567	90.7
トイレパーティション	767,914	129.5	1,009,289	110.6
クリーンルームパーティション	900,470	103.4	1,028,232	144.1
ドア製品	725,692	107.4	1,498,196	116.3
その他	297,989	85.0	173,013	135.5
合計	8,093,635	100.2	7,518,876	105.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	当第1四半期連結会計期間	
	金 額(千円)	前年同期比(%)
ハイパーティション	3,933,482	95.6
ローパーティション	418,471	92.5
移動パーティション	307,865	102.6
トイレパーティション	500,086	90.3
クリーンルームパーティション	461,857	48.1
ドア製品	383,882	84.8
その他	289,724	78.2
合計	6,295,370	87.4

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。



【訂正前】

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 **コマニー株式会社**

上場取引所 名証二部

コード番号 7945

URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 川口 幸一 TEL (0761) 21-1144

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第1四半期	6,293 —	△367 —	△342 —	△267 —
20年3月期第1四半期	7,205 1.0	224 △18.4	238 △19.4	150 0.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△24.80	—
20年3月期第1四半期	13.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	30,874	22,608	73.2	2,172.34
20年3月期	31,756	23,634	74.4	2,164.78

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 22,608百万円 20年3月期 23,634百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	14,600 —	200 —	200 —	100 —	9.61
通 期	31,300 △3.6	1,260 △25.4	1,260 △27.7	700 △32.0	64.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	10,924,075株	20年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	516,555株	20年3月期	6,225株
③ 期中平均株式数 (四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	10,788,967株	20年3月期第1四半期	10,918,344株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した円高や株式市場の相場下落、原油価格の高騰等、景気の減速感が急激に強まっており、先行きは不透明な状況となっております。

間仕切業界につきましては、鋼材やアルミ地金の価格上昇、販売価格の競争激化等、引き続き厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が減少し、地方においては地域間の需要格差が一層広がりをみせました。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。

品目別売上高につきましては、クリーンルームパーティションは工場の設備投資の減少に伴い前年同期と比べ半減の4億61百万円(前年同期比51.9%減)となりました。それ以外の品目は、市場の減速により伸び悩みました。

これらのことから、当第1四半期連結会計期間の売上高は62億93百万円(前年同期比12.7%減)となりました。損益面では、前述の主要原材料の価格上昇等に対して、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上総利益率は前年同期と比べ3.5ポイント低下しました。営業損失は3億67百万円(前年同期は営業利益2億24百万円)、経常損失は3億42百万円(前年同期は経常利益2億38百万円)、四半期純損失は2億67百万円(前年同期は四半期純利益1億50百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8億81百万円減少しました。純資産は10億26百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低下の73.2%となりました。

総資産の増減の主なものは、現金及び預金が5億71百万円、製品が1億14百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億31百万円減少しました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は59億40百万円で、前連結会計年度末に比べて5億71百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは8億4百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は10億54百万円となりました。これは主に、減価償却費2億31百万円、売上債権の減少額16億86百万円等の増加と、税金等調整前四半期純損失3億58百万円、賞与引当金の減少額3億20百万円、たな卸資産の増加額2億27百万円、仕入債務の減少額5億12百万円等の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は2億49百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出57百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は2億10百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億42百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間の連結業績が前年同期と比較して売上高、利益ともに減少しておりますが、受注残高が前年同期を上回っているため、平成20年4月25日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益が22,744千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ同額増加しております。

③ 当社については、役員退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上していましたが、平成20年4月25日開催の取締役会において、平成20年6月25日開催の第48回定時株主総会終結時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。

この廃止に伴い、本総会の終結時に在任する取締役及び監査役に対し、内規に基づき、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、具体的な金額、贈呈の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役会の協議に一任することが本総会で承認されました。

これに伴い、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金相当額216,200千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,040,194	6,468,813
受取手形及び売掛金	8,271,806	10,003,265
製品	884,102	769,212
原材料	461,305	375,441
仕掛品	207,308	196,249
繰延税金資産	513,735	400,674
その他	291,069	238,391
貸倒引当金	△30,933	△34,805
流動資産合計	17,638,589	18,417,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,175,934	3,242,669
機械装置及び運搬具	1,812,315	1,926,571
土地	3,390,973	3,390,973
その他	342,056	348,097
有形固定資産合計	8,721,279	8,908,311
無形固定資産		
その他	1,093,533	1,028,037
無形固定資産合計	1,093,533	1,028,037
投資その他の資産	3,421,293	3,403,083
固定資産合計	13,236,105	13,339,432
資産合計	30,874,695	31,756,674

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,526,615	2,053,537
短期借入金	351,200	435,000
未払法人税等	53,961	121,321
賞与引当金	390,880	711,208
役員賞与引当金	8,122	24,660
その他	<u>2,799,662</u>	<u>1,590,911</u>
流動負債合計	<u>5,130,441</u>	<u>4,936,637</u>
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	434,956	434,956
退職給付引当金	2,385,959	2,392,089
役員退職慰労引当金	—	262,800
その他	314,650	95,450
固定負債合計	<u>3,135,566</u>	<u>3,185,295</u>
負債合計	<u>8,266,008</u>	<u>8,121,933</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	<u>8,482,057</u>	<u>8,902,435</u>
自己株式	△548,079	△4,205
株主資本合計	<u>22,468,159</u>	<u>23,432,411</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,357	94,515
土地再評価差額金	227,102	227,102
為替換算調整勘定	△208,931	△119,287
評価・換算差額等合計	<u>140,527</u>	<u>202,329</u>
純資産合計	<u>22,608,686</u>	<u>23,634,740</u>
負債純資産合計	<u>30,874,695</u>	<u>31,756,674</u>

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	6,293,692
売上原価	4,087,163
売上総利益	2,206,528
販売費及び一般管理費	2,574,213
営業損失(△)	△367,685
営業外収益	
受取利息	6,528
受取配当金	10,807
受取賃貸料	1,396
その他	40,120
営業外収益合計	58,853
営業外費用	
支払利息	5,720
為替差損	10,324
売上割引	7,473
その他	9,958
営業外費用合計	33,477
経常損失(△)	△342,309
特別利益	—
特別損失	
固定資産除却損	206
投資有価証券評価損	16,225
特別損失合計	16,431
税金等調整前四半期純損失(△)	△358,741
法人税等	△91,213
四半期純損失(△)	△267,528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△358,741</u>
減価償却費	<u>231,718</u>
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,129
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△46,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△320,327
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,979
受取利息及び受取配当金	<u>△17,336</u>
支払利息	5,720
有形固定資産除売却損益 (△は益)	206
売上債権の増減額 (△は増加)	<u>1,686,746</u>
たな卸資産の増減額 (△は増加)	<u>△227,130</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	<u>△512,478</u>
その他	<u>703,864</u>
小計	<u>1,116,995</u>
利息及び配当金の受取額	<u>16,217</u>
利息の支払額	△5,738
法人税等の支払額	<u>△73,017</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,054,456</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	<u>△57,453</u>
その他	△192,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△249,933</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△59,400
自己株式の取得による支出	△8,924
配当金の支払額	△142,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△210,637</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>△22,503</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>571,381</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>5,368,813</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>5,940,194</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は単一であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,129,476	75,685	7,205,162	—	7,205,162
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,175	133,535	148,711	(148,711)	—
計	7,144,652	209,221	7,353,873	(148,711)	7,205,162
営業費用	6,907,370	226,184	7,133,555	(153,003)	6,980,551
営業利益又は営業損失(△)	237,281	△16,963	220,318	4,292	224,610

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,163,360	130,331	6,293,692	—	6,293,692
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,152	82,868	95,020	(95,020)	—
計	6,175,512	213,200	6,388,713	(95,020)	6,293,692
営業費用	6,504,906	252,371	6,757,278	(95,900)	6,661,377
営業利益又は営業損失(△)	△329,394	△39,170	△368,564	879	△367,685

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高(千円)	7,121,391	7,412,790	<u>8,902,435</u>	△4,205	<u>23,432,411</u>
当第1四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△152,849		△152,849
四半期純損失			<u>△267,528</u>		<u>△267,528</u>
自己株式の取得 ※				△543,873	△543,873
当第1四半期末までの変動額合計	—	—	<u>△420,377</u>	△543,873	<u>△964,251</u>
当第1四半期末残高	7,121,391	7,412,790	<u>8,482,057</u>	△548,079	<u>22,468,159</u>

※ 平成20年6月に市場から534,949千円を取得しました。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金 額	百分比
I 売上高	7,205,162	100.0
II 売上原価	4,420,987	61.4
売上総利益	2,784,175	38.6
III 販売費及び一般管理費	2,559,564	35.5
1 運送倉庫料	300,516	
2 報酬、給与、賞与 及び手当	912,407	
3 賞与引当金繰入額	272,641	
4 役員賞与引当金繰入額	8,426	
5 役員退職慰労金引当金 繰入額	12,300	
6 賃借料	115,442	
7 その他	937,830	
営業利益	224,610	3.1
IV 営業外収益	29,311	0.4
1 受取利息	3,192	
2 受取配当金	10,120	
3 賃貸料	2,210	
4 その他	13,787	
V 営業外費用	15,770	0.2
1 支払利息	3,378	
2 売上割引	7,473	
3 その他	4,917	
經常利益	238,151	3.3
VI 特別利益	146,978	2.1
1 投資有価証券売却益	123,934	
2 違約金収入	23,043	
VII 特別損失	107,557	1.5
1 土地売却損	5,719	
2 固定資産除却損	101,838	
税金等調整前四半期 純利益	277,572	3.9
税金費用	127,472	1.8
四半期純利益	150,099	2.1

「参考資料」

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	277,572
2 減価償却費	216,218
3 退職給付引当金の増加額	5,487
4 役員退職慰労金引当金の減少額	△5,200
5 賞与引当金の減少額	△321,261
6 役員賞与引当金の減少額	△22,244
7 貸倒引当金の減少額	△1,009
8 受取利息及び受取配当金	△13,313
9 支払利息	3,378
10 投資有価証券売却益	△123,934
11 有形固定資産除売却損	9,960
12 無形固定資産除売却損	97,597
13 売上債権の減少額	1,764,595
14 たな卸資産の増加額	△565,211
15 仕入債務の減少額	△661,253
16 その他	1,001,951
小計	1,663,332
17 利息及び配当金の受取額	11,733
18 利息の支払額	△2,610
19 法人税等の支払額	△994,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	677,468
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△92,067
2 有形固定資産の売却による収入	8,000
3 投資有価証券の取得による支出	△108,000
4 投資有価証券の売却による収入	147,097
5 その他	△79,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,054
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増加額	76,350
2 長期借入金の返済による支出	△106,934
3 配当金の支払額	△121,500
4 その他	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,140
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△193
V 現金及び現金同等物の増加額	401,079
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,674,336
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,075,415

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結会計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	当第1四半期連結会計期間			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
ハイパーティション	4,651,972	96.4	3,298,660	94.3
ローパーティション	386,792	84.9	88,756	91.3
移動パーティション	364,205	119.3	422,567	90.7
トイレパーティション	767,914	129.5	1,009,289	110.6
クリーンルームパーティション	900,470	103.4	1,028,232	144.1
ドア製品	725,692	107.4	1,498,196	116.3
その他	297,989	85.0	173,013	135.5
合計	8,095,037	100.3	7,518,718	105.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	当第1四半期連結会計期間	
	金 額(千円)	前年同期比(%)
ハイパーティション	3,931,803	95.5
ローパーティション	418,471	92.5
移動パーティション	307,865	102.6
トイレパーティション	500,086	90.3
クリーンルームパーティション	461,857	48.1
ドア製品	383,882	84.8
その他	289,724	78.2
合計	6,293,692	87.3

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。